

研究実施のお知らせ

2025 年 6 月 10 日 ver.1.1

研究課題名

自動免疫組織化学染色装置を用いたクロム酸を使用しないグロコット染色の検討

研究の対象となる方

2022 年 1 月から 2024 年 12 月の間に島根大学医学部附属病院で入院時に真菌感染の可能性を疑われ病理組織検体を摘出され、真菌の存在が認められた方

研究の目的・意義

従来のグロコット染色法は毒性・腐敗性・発がん性のあるクロム酸を用いて行っています。近年の研究で、クロム酸を用いない安全なグロコット染色法が開発されました。本研究では、自動免疫組織化学染色装置を用いてより簡便な染色法を検討することで安全な染色の普及に貢献し、人体への影響や環境汚染の軽減につなげることを目的としています。

研究の方法

病理組織診断の際に採取された病理組織検体（パラフィンブロック）を薄切し、得られた切片を染色することで染色性の評価を行います。

すでに採取された検体を使用するため、新たに検体を採取することはありません。

また、診断データ（病理組織診断結果、微生物検査所見）が必要な場合、カルテ情報よりデータ収集を行いません。

本研究において使用するデータはすべて個人を特定できない状態にして使用し、研究対象者の氏名・患者 ID、住所等の個人情報を使用することはありません。

研究の期間

2025 年 7 月 25 日～2027 年 3 月

研究の公表

この研究から得られた結果は、医学関係の学会や医学雑誌などで公表します。その際にあなたのお名前など個人を識別できる情報を使用することはありません。

研究組織

この研究は島根大学医学部附属病院検査部が行います。

研究責任者：

島根大学医学部附属病院検査部 田中暢人

試料（検体）・情報の利用停止

ご自身の試料（検体）・情報をこの研究に利用してほしくない場合には、ご本人または代理人の方からお申し出いただければ利用を停止することができます。

なお、利用停止のお申し出は、2026年2月までをお願いいたします。それ以降は解析・結果の公表を行うため、情報の一部を削除することができず、ご要望に沿えないことがあります。

相談・連絡先

この研究について、詳しいことをお知りになりたい方、ご自身の試料（検体）・情報を研究に利用してほしくない方、その他ご質問のある方は次の担当者にご連絡ください。

研究責任者：

島根大学医学部附属病院検査部 田中暢人

〒693-8501 島根県出雲市塩冶町 89-1

電話 0853-20-2426 FAX 0853-20-2425